



2021年12月17日

各位

会社名 タキヒヨー株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員 滝 一夫
 (コード番号 9982 東証・名証市場第一部)
 問合せ先 経営企画セクションリーダー 横山 和仁
 (TEL. 052-587-7111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年4月14日に公表いたしました2022年2月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年2月期通期 連結業績予想の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	55,000	220	320	200	21.79
今回予想(B)	56,450	△1,810	△1,610	△1,850	△200.52
増減額(B-A)	1,450	△2,030	△1,930	△2,050	—
増減率(%)	2.6	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(2021年2月期)	50,042	△1,018	△770	△1,121	△120.36

2. 2022年2月期通期 個別業績予想の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	53,400	140	100	10.90
今回予想(B)	55,030	△1,710	△1,850	△200.52
増減額(B-A)	1,630	△1,850	△1,950	—
増減率(%)	3.1	—	—	—
(ご参考)前期実績(2021年2月期)	47,192	△1,147	△909	△97.58

3. 修正の理由

今年度当社は、重点施策として「既存卸売ビジネスの挽回」、「小売り事業の強化」、「特長ある商品群の企画・提案」、「異業種との協業」の4点に取り組んでいるところであります。

この結果売上高は、増収基調にありますが、損益面では、原料価格の上昇、円安進行、海上運賃の値上がり、ASEAN諸国のロックダウンに伴う中国への生産シフトなどに伴い、アパレル・テキスタイル卸売事業の売上総利益率が低下し、通期の営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する当期純損益（個別業績においては当期純損益）はそれぞれ前回予想を下回る見込みであります。

こうした状況を踏まえ、本社スペースの一段の削減や東京支店の移転による賃借料の削減など固定費の削減に取り組むとともに、重点施策の推進をさらに加速し、収益基盤の回復に取り組んで参ります。

なお、期末配当予想につきましては、2021年4月14日に公表いたしました1株当たり10円から変更はありません（年間配当金20円）。

以上